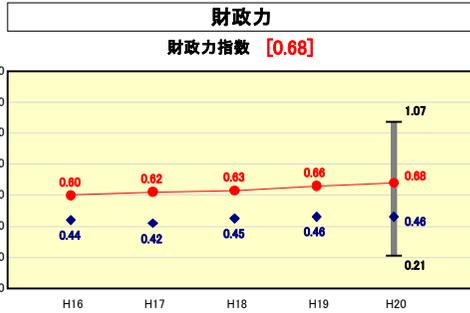
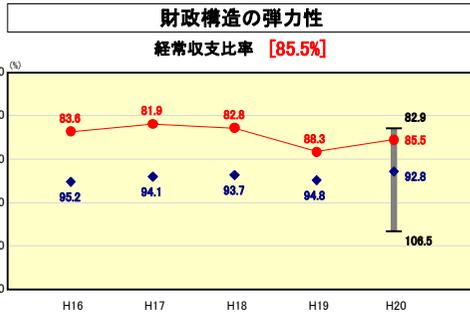


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

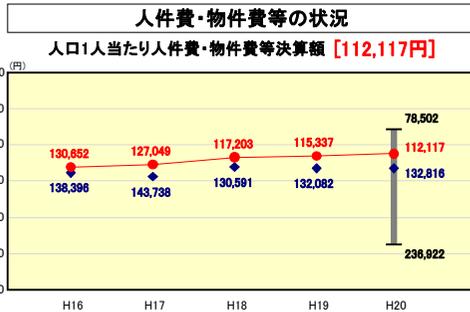


● 当該団体の値
◆ 類似団体内の平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 13/129
全国市町村平均 0.56
福井県市町村平均 0.65



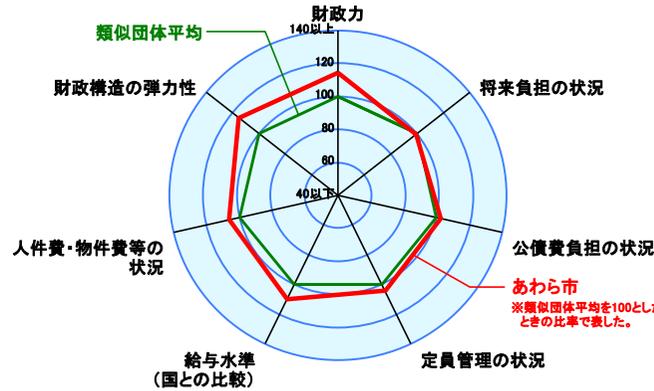
類似団体内順位 10/129
全国市町村平均 91.8
福井県市町村平均 80.7



類似団体内順位 30/129
全国市町村平均 114,142
福井県市町村平均 126,615

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

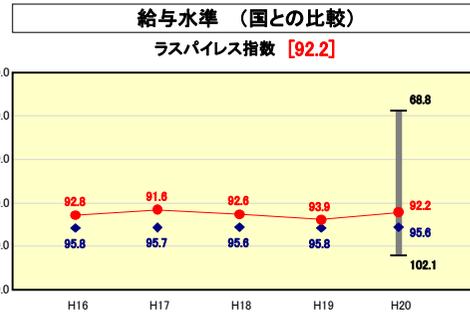
人口	30,775 人(H21.3.31現在)
面積	116.99 km ²
標準財政規模	8,284,669 千円
歳入総額	13,272,729 千円
歳出総額	12,867,974 千円
実質収支	372,886 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

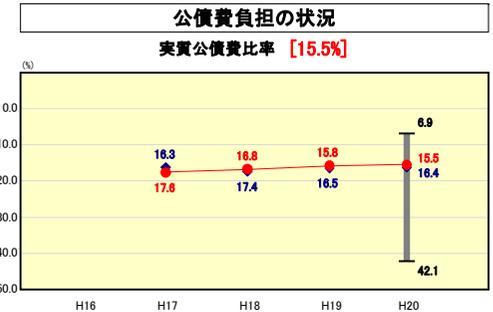
充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



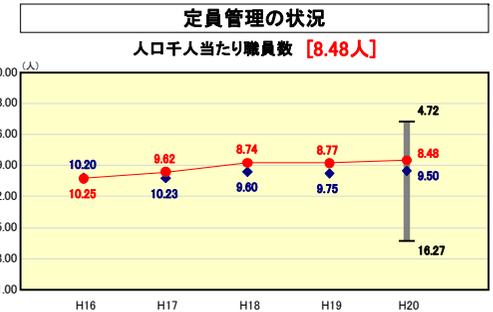
類似団体内順位 23/129
全国市町村平均 98.4
全国市町村平均 94.6



類似団体内順位 75/129
全国市町村平均 100.9
福井県市町村平均 100.7



類似団体内順位 58/129
全国市町村平均 11.8
福井県市町村平均 12.7



類似団体内順位 39/129
全国市町村平均 7.46
福井県市町村平均 8.79

分析欄

※平成16年3月1日に、旧芦原町と旧金津町の合併により、あわら市となった。

●財政力指数

平成16年3月の市町村合併により財政基盤の強化が図られるとともに、法人市民税の伸びにより類似団体の平均を大きく上回る結果となっている。しかしながら、不透明な景気の先行きにより税収の伸びは期待できず、今後も徴収率の向上を図り、税収の確保に努める。

●経常収支比率

合併後に新規採用凍結及び採用抑制を行い、人件費を抑制したことにより類似団体の平均を大きく下回る結果となっている。また、地方交付税が大幅な増となったことに加え、地方税も微増となったため、前年度より2.8ポイント減となった。今後も行財政改革を推進し、経常経費の抑制に努める。

●ラスパイレス指数

合併前の旧町時代より給与の適正化に努めているため、類似団体の平均を下回っており、今後とも給与の適正化に努める。

●将来負担比率

町村開発公社の債務補償を解消したことにより平成19年度より微減しているが、類似団体の平均を上回っている。今後とも適正化を図り、将来負担比率の抑制に努める。

●実質公債費比率

交付税措置の有利な合併特例債の活用、公営企業会計繰出金の抑制等により、前年度より0.3ポイント低下し、類似団体の平均をやや下回る結果となった。今後、小・中学校耐震改修事業、新幹線関連整備事業等といった大型プロジェクトを控えているため、事業費の圧縮による新規の地方債発行額の抑制と公営企業会計の健全な経営を図ることによる繰出金の更なる抑制等に努める。

●人口1,000人あたりの職員数

平成16年3月の合併以降、4年間職員の採用を凍結したことにより、集中改革プランで示された目標値(平成22年度当初までの5年間で職員数を15%以上削減)について前倒しで達成しており、また類似団体の平均も下回っている。今後の職員採用については、適正管理に努め、慎重に実施する。

●人口一人当たり人件費・物件費等決算額

前年度に比較して微減となっており、また類似団体の平均も下回っている。これらの理由としては、ごみ処理業務、消防業務、介護保険業務等の一部事務組合や広域連合で行っていることや、養護老人施設や保育所等の民営化推進が挙げられる。今後も指定管理者制度の活用を図り、現行水準の維持に努める。